

2019年1月13, 14日 八ヶ岳 旭岳東稜 L谷内、宮坂

20年くらい前に佐久アッセントクラブの山行に参加させてもらい稜上ツェルト泊を含め冬期アルパインの楽しさを教えてもらった思いで深いルートに久しぶりにチャレンジしてきました。雪が少ない分、充分いやらしいミックス壁クライミングを堪能することができました。

1/13 快晴で風なし

AM6時茅野発 - 6:45 美し森駐車～7時発 - 昨年秋の台風の影響で林道、登山路の荒れ様がすさまじい - 9:08 出合小屋。小屋内1パーティー、テント3張りあり。どこに取りついているのか? - 上ノ権現沢の氷瀑組のトレースを進み、しばらくした斜面から10時に取りつく。稜上に出ると権現沢側から取りついたと思われる本日のトレースあり。しばらく行くと、お助け紐があったと記憶しているヤセタリッジ帯を迎え慎重に通過。その後の急な灌木帯も泊り装備ではしんどし。高度を上げダケカンバ帯となり肩の側面斜面を迎える。積雪状況によっては雪崩が心配なところである。今回はいやらしい草つきミックス帯をダブルアックスで登り五段ノ宮基部に12:35着。当初ここに設営予定であったが小さなテント1張り分のスペースがぎりぎりあるかないかくらいである。時間も早いのでどうするか協議。五段ノ宮はほとんど雪ついておらず完全に岩登りの世界である。軽身だとなんとかチャレンジできそうだが、重荷装備の我々の技量レベルを越えて今日中に抜けるのは難しそうなので側壁巻きルートを選択。岩壁基部を左にトラバースし、その後もろい急な草つき灌木帯を2ピッチで稜上に抜けたが充分シビアな登攀であった。その後のヤセタナイフリッジ2ピッチは気持ちよし。最後の草つき凹角壁は左手より巻き気味に上がり15:35旭岳山頂で終了。ガッチし握手をかわしお互いの健闘をたたえあう。縦走路を下りツルネ手前の鞍部状にテンバを求め17時に入り込みひたすら脱水補正に努めた。

1/14 夜間曇ってたおかげで冷えこまずにすむ。日中は快晴。

AM6:05 発 - バッチしトレースのついたツルネ東稜を下降 - 7:23 出合小屋 - 9:10 美し森駐車場帰着。

帰路の車中から白く輝く急峻な旭東稜が眩しかったです。